

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

注意

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ⓘ 記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

!

ⓘ 記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告

・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。

・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。

・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。

・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

注意

故障の原因になります

給湯温度は60℃以下でご使用ください。60℃を超える高温でご使用になると浄水カートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

製品を落としたり、強い力や衝撃を与えたりしないでください。

止水栓に逆止ソケットを取り付けた際、接続部などから水漏れがないことを確認してください。

部品の確認

浄水器部

本体部

吊り下げ袋

ブラードホース

付属品

水受けボックス

ホースストッパー (ビス2本付き)

逆止ソケット (パッキン紛失注意)

水受けボックススペーサー (ビス4本付き)

取扱い説明書

治具説明書

スクリーン治具

レンチ

レンチ・水受けボックススペーサー取扱い説明書

準備する部品

水量調整及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず用意してください。

※ネジ規格はG1/2です。

止水栓 (例)

設置条件

■水圧条件

■給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くないように設定してください。

■給水・給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

1.施工方法

1-①水道配管の止水栓を閉め水抜きを行う

配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行います。

●キー式

●ハンドル式

●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス

●シンク下の止水栓

止水栓

注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

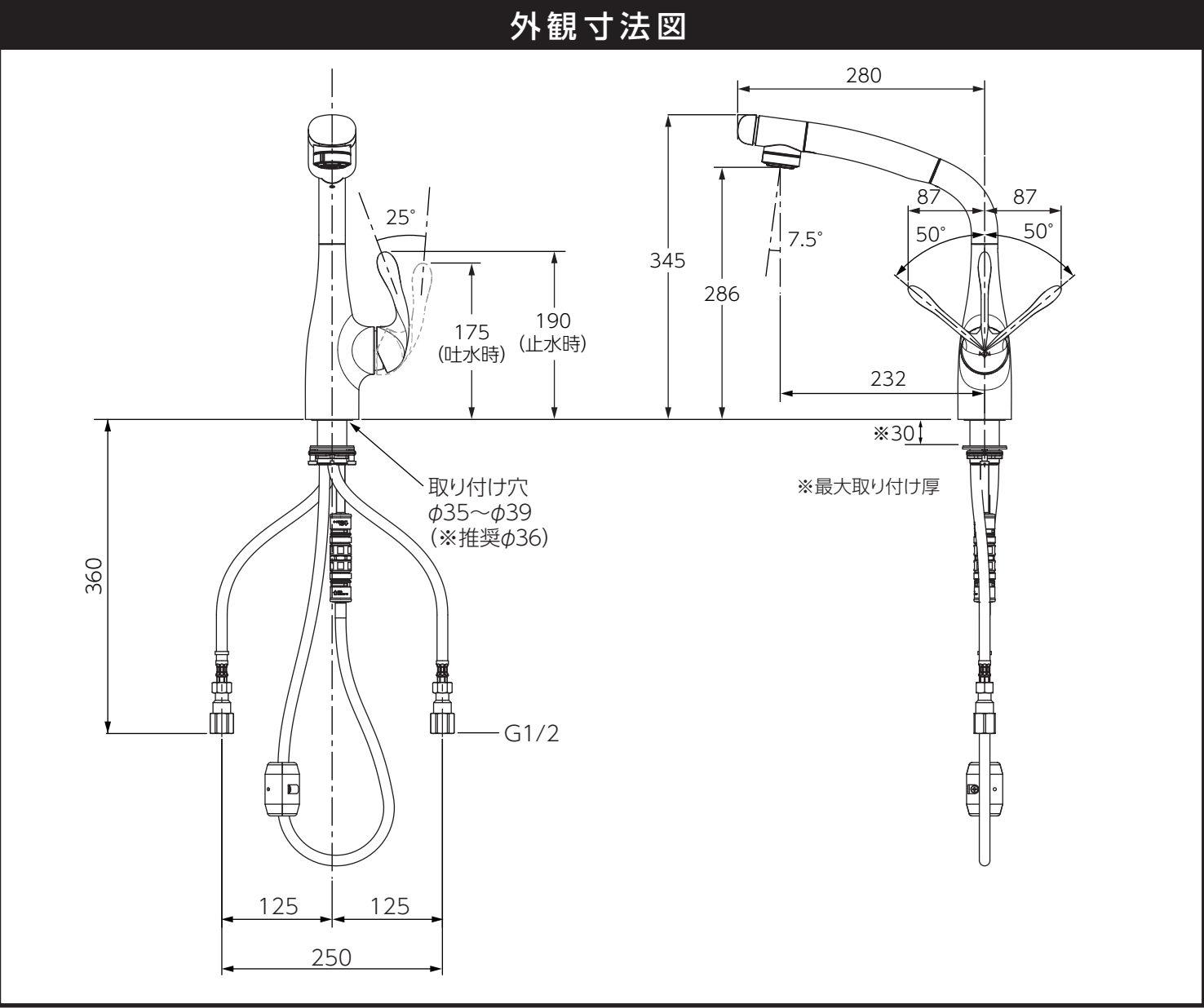
高水圧地区では減圧弁を設置してください。

水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓本体が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。

定期的に止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていらないと、水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓（点検口）を設置してください。

施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。



1-②蛇口取付ナット、座金、パッキンを取りはずす

フレキシブルホースに取り付けているタグの位置を調整しながらワンタッチカブラを右図の位置(ブラードホース袋ナットより下)にして(※2)取り付け穴に本体部を差し込み、パッキン[紙系]、座金、蛇口取付ナットの順に本体部の固定ネジに取り付け軽く仮止めます。本体部の「hansgrohe」ロゴが正面を向くように合わせた後、蛇口取付ナットを矢印の方向に十分に締め込み、蛇口取付ナットについているビス2本をドライバーで矢印の方向に十分に締め込みます。(※3)スパウトホルダーが左右均等に動くことを確認してください。(微調整の際は、蛇口取付ナットのビス2本を少し緩め調整してください。調整後は増し締めしてください)ワンタッチカブラ→ブラードホース1本ずつの順でパッキン[紙系]、座金、蛇口取付ナットに通ってください。※ブラードホース、フレキシブルホースの折れにご注意ください。※タグはフレキシブルホースからははずさないでください。(締め付けナットが本体部に入り込むと取り出しにくくなります)

1-③本体部の取り付け

本体部の下面にパッキン[ゴム系]1枚が付いている事(※1)を確認し、フレキシブルホースをタグの位置を調整しながらワンタッチカブラを右図の位置(ブラードホース袋ナットより下)にして(※2)取り付け穴に本体部を差し込み、パッキン[紙系]、座金、蛇口取付ナットの順に本体部の固定ネジに取り付け軽く仮止めます。本体部の「hansgrohe」ロゴが正面を向くように合わせた後、蛇口取付ナットを矢印の方向に十分に締め込み、蛇口取付ナットについているビス2本をドライバーで矢印の方向に十分に締め込みます。(※3)スパウトホルダーが左右均等に動くことを確認してください。(微調整の際は、蛇口取付ナットのビス2本を少し緩め調整してください。調整後は増し締めしてください)ワンタッチカブラ→ブラードホース1本ずつの順でパッキン[紙系]、座金、蛇口取付ナットに通ってください。※ブラードホース、フレキシブルホースの折れにご注意ください。※タグはフレキシブルホースからははずさないでください。(締め付けナットが本体部に入り込むと取り出しにくくなります)

注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

蛇口取付ナットは手で軽く締め、ビスはドライバーを使用して、しっかりと締め込んでください。

注意

破損の原因となります

蛇口取付ナット(ビス2本)を締め込んだ状態で向きを調整をしないでください。

注意

天板に本体部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

1-④止水栓に逆止ソケットを取り付ける

止水栓に逆止ソケットを取り付けます。※逆止ソケットは平行ネジ (Gネジ) です。※止水栓がテーパーネジ(Rネジ)の場合は、テーパーネジ (Rネジ)用アダプターを使用してください。

注意

水漏れのおそれがあります

平行ネジにはシールテープを巻かないでください。また、止水栓への逆止ソケット取り付けは20～25N・mで締め付けてください。

注意

逆止ソケットの中のパッキンが脱落していないか確認してください。

パッキン

逆止ソケット

止水栓

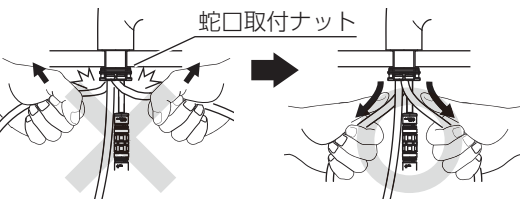
1-⑤ 逆止ソケットとブレードホースを接合する

⚠ 注意

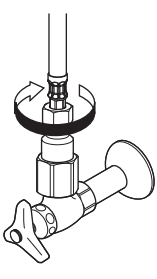
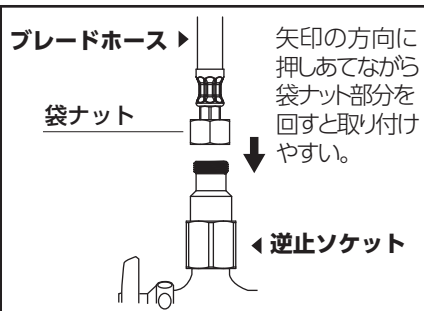
水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

ブレードホースを曲げる際は、ブレードホースが蛇口取付ナット付近で折れ曲がらないように指を添えるなどして、ゆるやかに曲げてください。

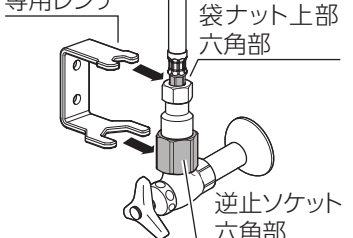
ブレードホースを曲げる際の注意点



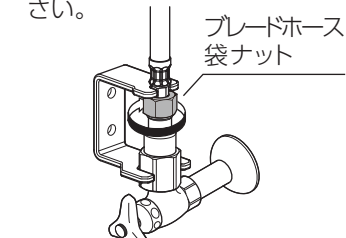
①ブレードホースの袋ナットを逆止ソケットに取り付け仮止めます。



②専用レンチを先に逆止ソケットの六角部へ差し込み、次にブレードホース袋ナット上部の六角部へ調整しながら差し込みます。



③専用レンチでブレードホースと逆止ソケットを押さえながらブレードホース袋ナットを十分に締め込みます。専用レンチは全施工完了後、取りはずしてください。



⚠ 注意

漏水の原因となります

●必ず専用レンチでブレードホースと逆止ソケットを押さええた状態でブレードホース袋ナットの締め込みを行ってください。※袋ナット締め込み時、袋ナットと供回りしてブレードホースがねじれたり、逆止ソケットが供回りして給水配管を破損させたりするおそれがあります。

●専用レンチを取り付け・取りはずすときは、逆止ソケットが緩まないようにしてください。

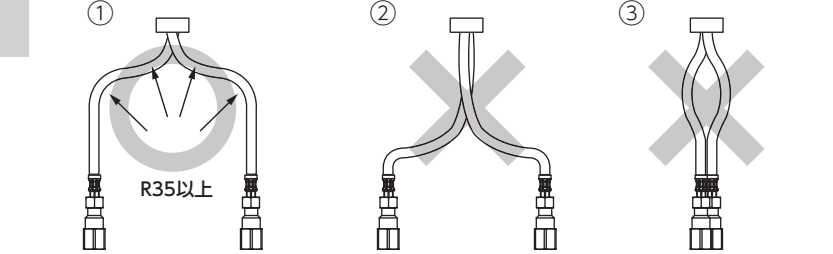
⚠ 注意 水が出なくなるおそれがあります

ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

①ブレードホースの折れにご注意ください。ブレードホースを最小曲げ半径(35mm)よりも小さく曲げて使用すると、ブレードホースが折れることがあり、折れた部分で早期破壊を生じるおそれがあります。施工時には最小曲げ半径(35mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

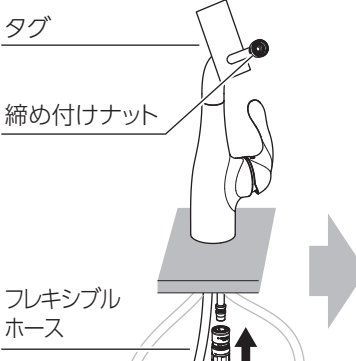
②ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

③ブレードホース同士は不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でブレードホースの性能が劣化するおそれがあります。



取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合は、またはブレードホースが短く届かない場合は、給水・給湯配管を延長してください。

1-⑥ フレキシブルホースを湯水混合管に取り付ける



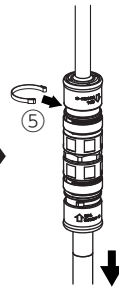
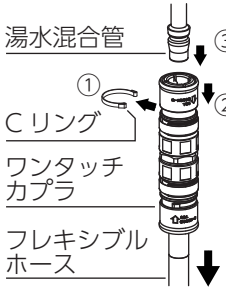
フレキシブルホースを下記手順に従って湯水混合管に接続してください。
※フレキシブルホースに取り付けられているタグは取りはずさずに作業してください。
締め付けナットがスパウトホルダー内に入り込み締め付けナットが取り出せなくなります。

⚠ 注意 漏水の原因となります

必ず【手順1】～【手順2】に従ってCリングをワンタッチカプラへ取り付けてください。

【手順1】

【手順2】



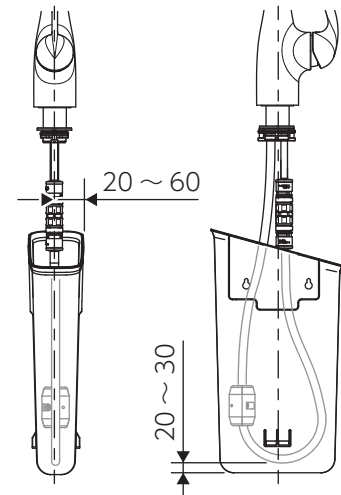
- ワンタッチカプラのフレキシブルホースが接合していない側のCリングをはずします。
- 青色リングを音がるまで下げます。
- 湯水混合管を差し込みます。(青色リングが上がりやす)
- フレキシブルホースを引っ張ってははずれないことを確認します。
- Cリングを図の位置にはめる。
- Cリングをはめたのち再度フレキシブルホースを引っ張ってははずれないことを確認します。(接続が不完全な場合、漏水の原因となります)

1-⑪ 水受けボックスを設置する

⚠ 注意

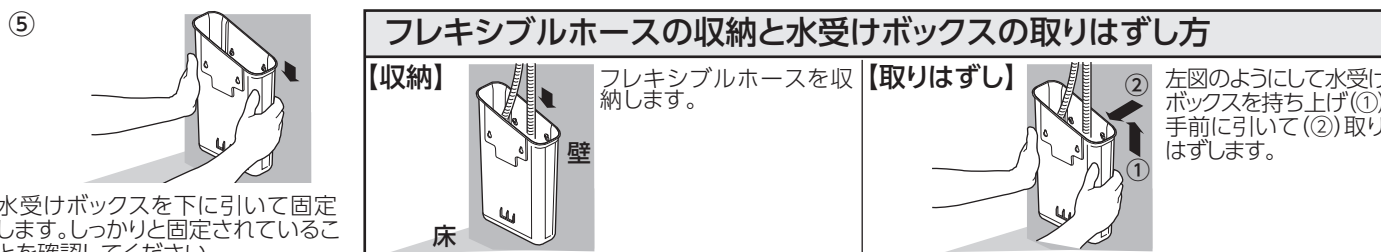
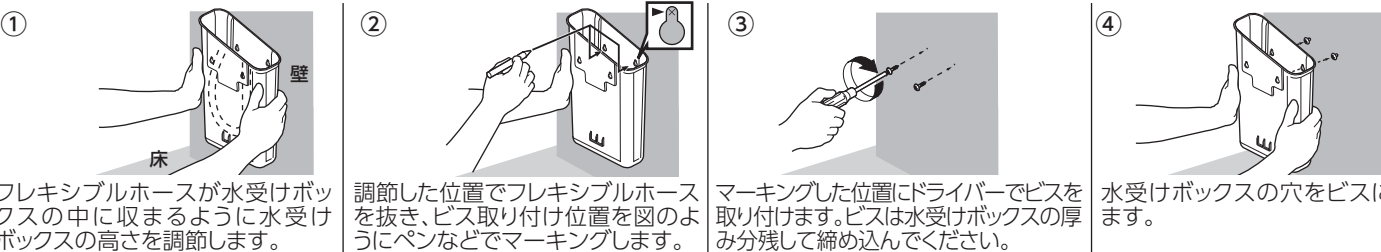
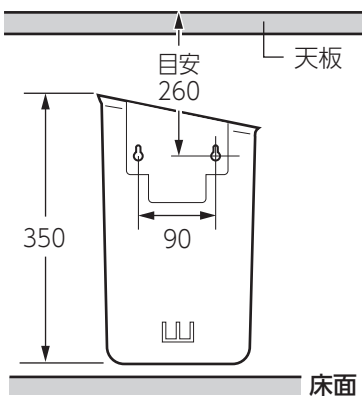
●水漏れ事故防止のため、必ず取り付けてください。●正しく設置されない場合、漏水およびフレキシブルホースの操作性が悪くなる原因となります。●水漏れ事故防止のため、[Allegro]以外の水栓金具に取り付けしないでください。●水栓本体のスパウトホルダーから水が多量に入った際には、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。●フレキシブルホース引き出し操作時において、ホースストッパーと水受けボックスがあたり、音が発生することがあります。●変形するおそれがあります。40℃以上にならないような場所に設置してください。

<取り付け上の注意:フレキシブルホースのセッティングの仕方>



- 水受けボックスがフレキシブルホースへ負荷を与えないように、水受けボックスを壁掛け固定にて設置してください。
- 側面から見て、水栓中心に対し、水受けボックスの壁掛け取り付け面が約20～60mmを目安に水受けボックスを設置してください。
- ※60mmを超える場合は、付属品のボックススペーサーを取付面にしっかり固定し、ボックススペーサーに水受けボックスを取り付けてください。
- 正面から見て、水栓中心と水受けボックス中心が一致するように設置してください。
- 必ず、フレキシブルホースが水受けボックスと干渉しないようにしてください。
- 湯水混合管に無理な力を加えないでください。
- フレキシブルホース引き出し操作時において、ホースストッパーと水受けボックスがあたり、水受けボックスがはずれないように水受けボックスはしっかりと固定してください。
- フレキシブルホースが引き出されていない状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスの底面にあたらなように(20～30mmの間隔は必要)水受けボックスの設置高さを調節してください。
- フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスの中に入るようにホースストッパーの位置を調節してください。
- 水受けボックスの向きに注意してください。<高いほうが左(湯側)となるように設置>

<シンク下での水受けボックス設置位置の目安>

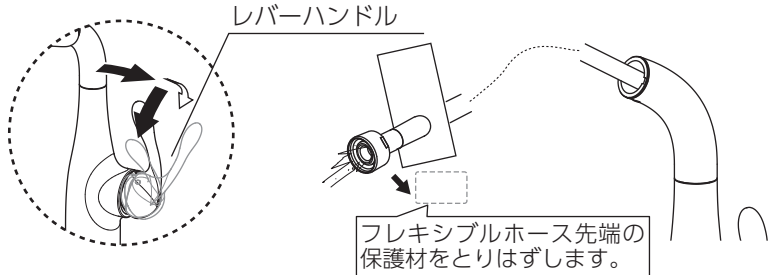


1-⑦ 水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓(湯側・水側)を開けます。

1-⑧ 浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

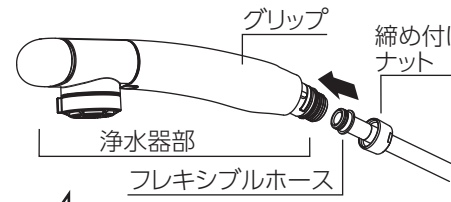
レバーハンドルを吐水状態にして前後に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを止水状態にしてください。



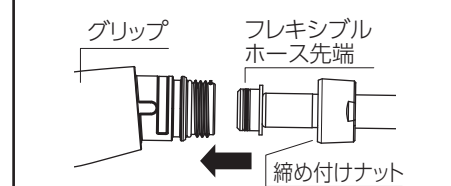
⚠ 注意

吐水が飛び散らないよう注意してください。

1-⑨ 浄水器部を取り付けスパウトホルダーに収納する

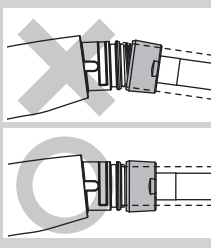


①フレキシブルホース先端(リング付き)をグリップに差し込みます。

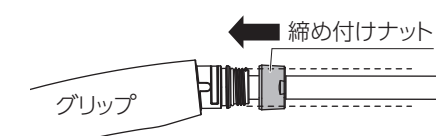


⚠ 注意

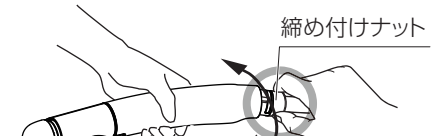
締め付けナットは斜めに取り付けないでください。浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。



②浄水器部のグリップを持って締め付けナットにまっすぐ入れます。



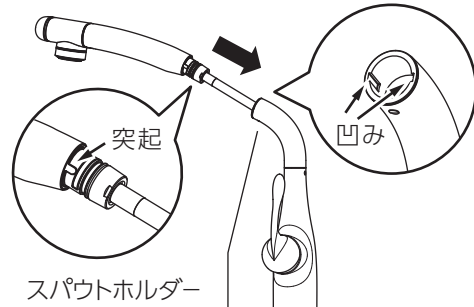
③浄水器部のグリップを固定して締め付けナットを回転させて取り付けます。



⚠ 注意

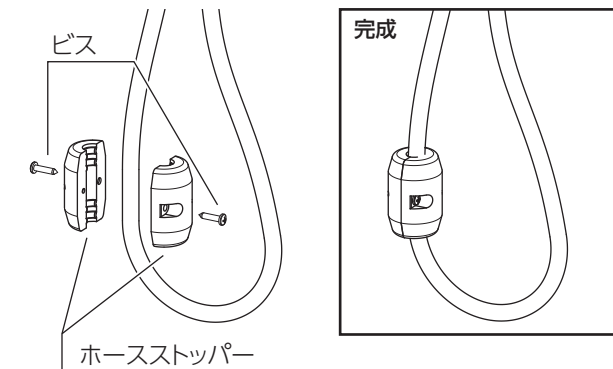
●フレキシブルホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因になります。
●締め付けトルクの目安は1N・mです。故障の原因になるため、工具を使って締め付けしないでください。

タグを取りはずし、浄水器部のグリップの突起(2か所)をスパウトホルダーの凹み(2か所)にあわせ、浄水器部をスパウトホルダーに収納します。

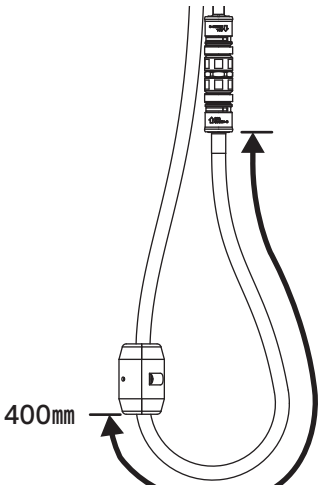


1-⑩ ホースストッパーを取り付ける

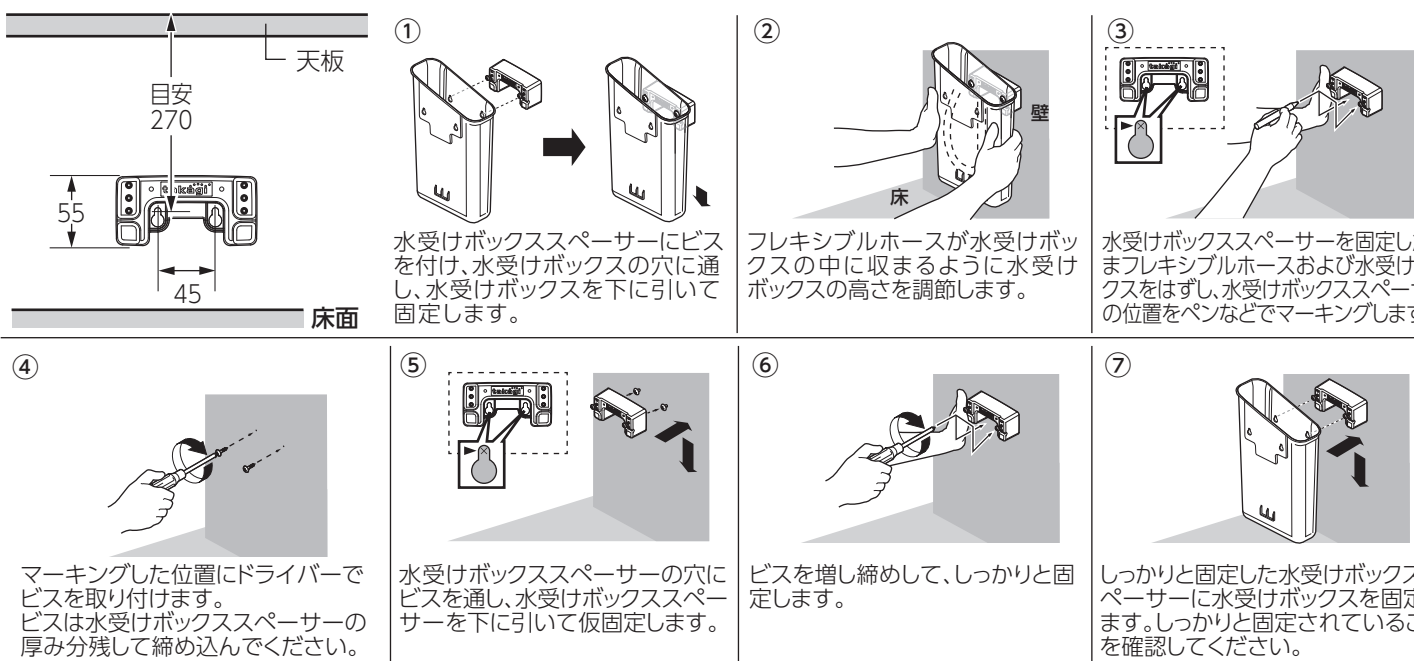
フレキシブルホースをはさみ、付属のビスで十分に締め付けます。



ホースストッパー取り付け位置目安



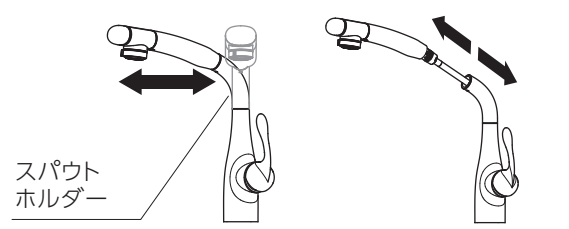
<水受けボックススペーサー設置位置の目安> 水受けボックススペーサーを使用して水受けボックスを設置する場合



2. 取り付けが終わったら

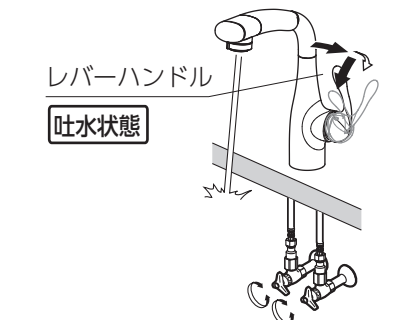
2-① 引き出し・収納がスムーズに行えるか 水受けボックスのはずれがないか 確認する

スパウトホルダーを左右に動かして浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。フレキシブルホースがスムーズに入し入れ出来ない場合、または、水受けボックスが外れる場合は、水受けボックスの取付位置を調整しなおしてください。



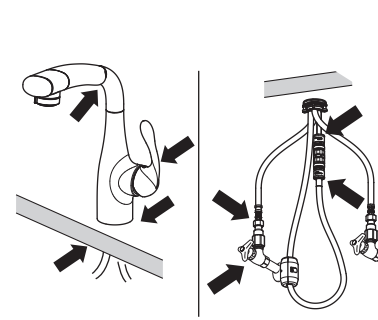
2-② 止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



2-③ 各接続部の水漏れがないかを確認する

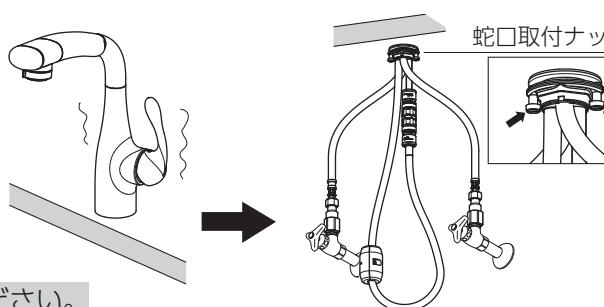
施工完了後は、配管接続部、逆止ソケットおよび水栓から水漏れのないことを確認してください。



2-④ 本体部がガタついていないかを確認する

施工完了後、本体部がガタつきがある場合は、蛇口取付ナットのビス2本を締め込んでください。

施工完了後、取扱説明書・施工説明書・治具説明書・締め付けナット 治具・スクリーン治具・吊り下げ袋はお客様の目につくよう、水栓の近くに置いてください。



施工完了後、品質表示/節湯C1タグは本体に取り付けておいてください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

- 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
- 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。
- 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
- 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
- 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水
通話料 0120-328-413 24時間電話受付(年中無休)

株式会社 タカギ

http://www.takagi.co.jp/